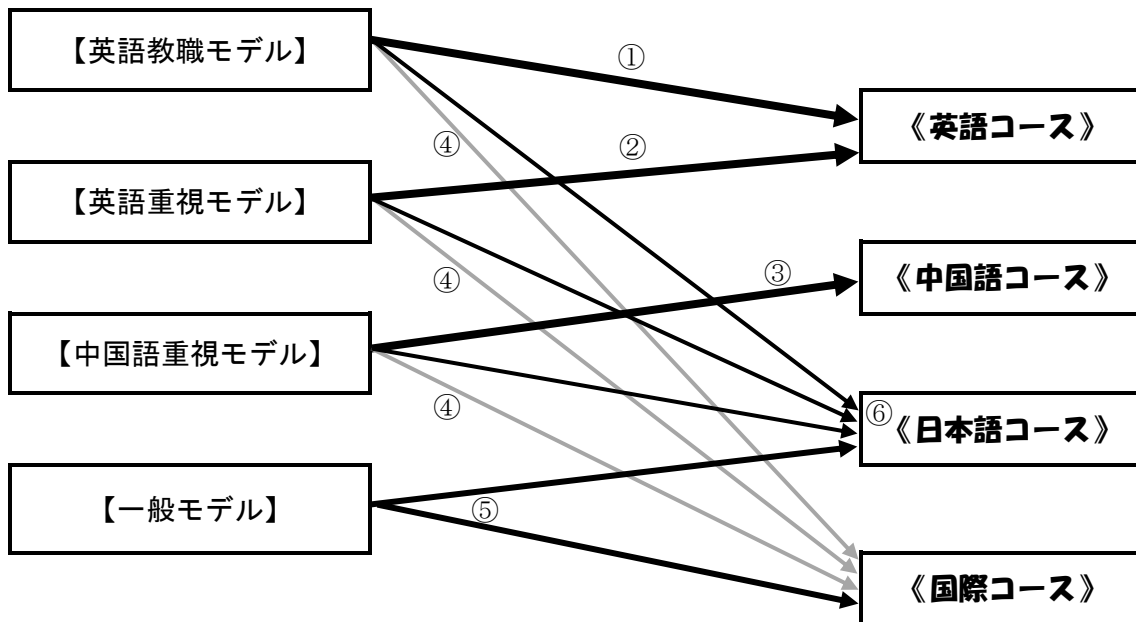


※ 4つの1年次履修モデルの選択が、2年次からのコース選択とどう結びつくのか、紹介します。

1年次履修モデルと2年次コース進級との関連イメージ



- ① **【英語教職モデル】**は、特に高い英語力の獲得が期待されます。2年次には英語コースに進み、さらに英語力を高めましょう。
- ② 英語コースには1年次で習得しておくべき英語科目が多数あります。**【英語教職モデル】**、**【英語重視モデル】**で履修し、しっかり単位を取ればその条件を満たせます。
- ③ 中国語コースは、上海への留学が組まれているため、それを満たせるだけの中国語力が要求されます。そのため、**【中国語重視モデル】**が唯一の選択肢です。
- ④ **【英語教職モデル】** **【英語重視モデル】** **【中国語重視モデル】**から国際コースを選択することも不可能ではありませんが、卒業要件を満たすためには2年次からの負担が大きくなります。
- ⑤ **【一般モデル】**からは日本語コースまたは国際コースへの進級が考えられます。
- ⑥ 日本語コースにはいずれの履修モデルからの進級も可能です。ただし、(日本人・留学生ともに)高度な日本語の力が期待されます。

⇒ 各コースの配属条件を裏面にコピーしました。こちらも参照しましょう。

英語コース

- ① 1年次後期に実施のGTEC-CTEを受験していること。
- ② 1年次で開講される次の英語関連の科目18単位のうち12単位を修得していること。

総合教育科目	「英語 (Listening&Speaking) 1」	1単位
	「英語 (Listening&Speaking) 2」	1単位
	「英語 (Reading&Writing) 1」	1単位
	「英語 (Reading&Writing) 2」	1単位
専門教育科目 国際学部共通科目 英語・英文学の基礎	「Interactive Communication 1」	2単位
	「Interactive Communication 2」	2単位
	「アメリカ文化概論」	2単位
専門教育科目 専門演習科目 英語分野	「Aural-Oral Practice & Theory 1」	2単位
	「Aural-Oral Practice & Theory 2」	2単位
	「Extensive Reading1」	2単位
	「Extensive Reading2」	2単位

日本語コース

志望学生が、受け入れ学生上限数の目安を上回った場合は、面接と成績により選抜することがある。ただし、3年次進級時に、留学生以外の学生・留学生両者に対し日本語能力を確認する試験を実施する。それまでに、留学生は日本語能力試験でN1を取得しておくことが望ましい。

中国語コース

1年次で開講される次の中国語関連の科目をすべて履修し、12単位のうち6単位を修得していること。

総合教育科目	「中国語入門(基礎)1」	1単位
	「中国語入門(基礎)2」	1単位
	「中国語入門(会話)1」	1単位
	「中国語入門(会話)2」	1単位
専門教育科目 専門演習科目 中国語分野	「専修中国語入門1」	2単位
	「専修中国語入門2」	2単位
	「専修中国語入門3」	2単位
	「専修中国語入門4」	2単位

国際コース

志望学生が、受け入れ学生上限数の目安を上回った場合は、成績により選抜することがある。